

平成30年度 事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

特定非営利活動法人 市民科学研究室

1 事業の成果

- ・「一食福島復興・被災者支援助成」「子どもゆめ基金」「高木仁三郎市民科学基金」を用いたそれぞれの事業を推進（下記参照）
- ・電磁波、食、防災、健康、消費者教育問題等に関する講演、取材、インタビュー、論文執筆など60数件
- ・(株)アイカムと共同での連続映画上映会を6回実施
- ・電磁波、科学コミュニケーション、低線量被曝、食、熱とくらし、Bending Science、生命操作に関する調査研究を実施（研究会の総回数72回）

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
科学技術に関連する市民学習講座などの教育事業	各種メディア取材、ファシリテーション、(株)アイカムと共同で映画上映会、江東区との提携で「子ども料理科学教室」、助成事業のなかでのワークショップや発表会などを計18回行った。その他、科学技術に関する市民に向けての講演会を10回行った。市民参加型のイベントである「市民科学講座」A・Bコース、「市民科学談話会」などを計19回実施した。	多数	文京区内の生涯学習施設他	30人	科学技術に関心のある市民多数	1,358
科学技術に関連する調査研究事業	電磁波、科学コミュニケーション、低線量被曝、食、熱とくらし、Bending Science、生命操作に関する調査研究を行った（研究会など72回）。取材・フィールドワーク等を随時実施した。	4月より随時	法人事務所	35人	不特定多数	493
科学技術に関連する出版物、ホームページなどによる広報事業	機関誌『市民研通信』を第44～49号の6冊を発行し、ウェブサイトにて情報提供した。総計約40本の記事論文を執筆し、ホームページで公開した。	4月から3月まで	法人事務所	20人	会員及び科学技術に関心のある市民	763

<p>助成事業</p>	<p>●「立正校成会一食（いちじき）平和基金」及び「ふくしま地球市民発信所」による「一食福島復興・被災者支援」事業助成プログラムにより「福島県からの避難を理解するための福島県外での中学・高校・大学生向け教育（ワークショップ）プログラムの開発と実践」：WS総計（総計137名、20数時）</p> <p>●子どもゆめ基金平成30年度「子ども向け体験活動」により「地域のラジオ局での体験によって学ぶコミュニティ・コミュニケーション」：WS3回</p> <p>●子どもゆめ基金平成30年度「子ども向け教材開発・普及活動助成」により「キッズ・レジスターラジオ局作りで地域社会と情報技術を学ぼうー」WS2回、専用HP完成</p> <p>●高木仁三郎市民科学基金2018年度助成により「電磁波曝露のリスクに焦点をあてた5G（第5世代移動通信システム）の技術影響評価」：発表会1回、専用HP完成</p>	<p>4月から 3月まで</p>	<p>法人事務所 および文京区 内施設他</p>	<p>12</p>	<p>文京区民 その他健康ま ちづくり事業 に関心のある 市民多数</p>	<p>4,203</p>
-------------	---	----------------------	----------------------------------	-----------	---	--------------